

測定方法

保管方法、使用上の注意

- 冷蔵保管。凍結不可
- 冷蔵庫から取り出した後に温める必要はありません。そのまま測定可能です。開封後、5分以内に使用してください。
- アルミ箔の袋に入った状態であれば最大8時間まで常温での放置が可能です。また、8時間以内であれば、最大5回まで冷蔵庫へ戻すことが可能です。
- 推奨検体量：
 - 全血：600～800 μ L
 - 血清／血漿：100 μ L（他の試薬スライドと併せて測定する場合は300 μ L）

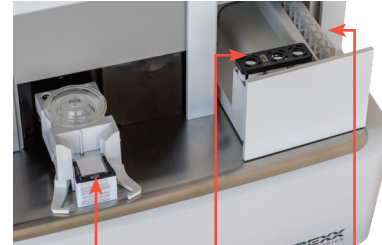
セットするだけの簡単なCRP検査

カタリストOne*



ここにチップをセット
ここにスライドをセット
ここに試薬カップをセット

カタリストDx*



ここにスライドをセット
ここに試薬カップとチップをセット

よくある質問

| 質問 | 回答 |
|---|--|
| 必要なのは試薬スライドだけですか？ | いいえ、試薬スライドだけではありません。試薬スライドに加え、試薬カップ（コンジュゲート、洗浄液、混和用のカップ）が含まれています。いずれも測定の際に同時に使用します。 |
| どのような検体で測定ができますか？ | 血清、血漿（リチウムヘパリン）に加え、全血でも測定可能です。全血の際には全血セパレーターをご使用ください。 |
| 測定できる動物種は？ | 犬です。 |
| 他の試薬スライドと同時に測定できますか？ | はい、CRP試薬スライドは単独での測定も、他試薬スライドとの同時測定も可能です。例えば、カタリスト*Lyte4クリップ、カタリスト*Chem17クリップとの同時測定も可能です。 注記： カタリストDxでは、CRPを Total T ₄ と同時に測定することはできません。 |
| 他のスライドと併せて測定する場合、CRP検査キットを決まった順番でセットする必要がありますか？ | カタリストOne： NH3、Lyte4、その他一般項目よりも上にCRPをセットしてください。 カタリストDx： NH3、Lyte4、その他一般項目よりも上にCRPをセットしてください。ただし、19枚以上のスライドを測定する場合は、1-18番以内にセットしてください。他のスライドの順番について、詳細な情報が必要な場合には、上記機器の操作ガイドをご覧ください。 |
| CRPの測定範囲はどれくらいですか？ | 0.1～10.0 mg/dL |
| CRPの参考基準値はどれくらいですか？ | 0～1.0 mg/dL |
| CRPの測定時間はどれくらいですか？ | <ul style="list-style-type: none"> • CRPのみ：8分未満 • 他の項目と同時に測定する場合：約12分 |
| CRPを測定する検体を希釈してもよいでしょうか？ | はい、希釈した検体を使用可能です。重度の全身性炎症（CRP値が10.0mg/dL以上）の疑いがある患者のCRPを測定する場合は、検体を希釈してください。推奨の希釈度は血清、または血漿1に対して生理食塩水1です。 注記： CRPについては、カタリストDxで自動希釈することはできません。 |
| 室温に戻した試薬スライドを冷蔵庫で再び保管できる回数は何回までですか？ | ホイル袋が未開封であれば、室温に戻した試薬スライドを冷蔵庫で再び保管できる回数は最大5回です。常温で8時間以上おくと場合は、冷蔵保管に戻してください。 |
| QCが必要でしょうか？ | CRP用のQCは必要ありません。CRPの測定についての詳細は、カタリストDxまたはカタリストOneの操作ガイドをご覧ください。 |